

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	(3)単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校改訂版新編国語総合 (第一学習社)						
副教材等	三回書き込み式標準漢字演習 (とうほう出版) カラー版新国語便覧(第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

1年生では、学習初期に基本的な漢字や語彙、知識を身につけ、物語、評論、随想から詩・俳句・短歌まで幅広い文章や韻文、古文を読む力をつけて欲しいと考えています。宿題(漢字ワーク・作品読解プリントの予習・古典文法プリントなど)は授業のベースとなる作業ですのできちんと取り組みましょう。授業についてはしっかりと説明を聞き指示に従ってください。授業内容が理解できたかどうかは、発問に対する応答とファイルをチェックし(教材プリントはファイルしてもらいます。)、定期テストで判断します。わからないことは、積極的に質問してください。

2 学習の到達目標

【現代文】

- ・文章の内容を自らの体験に引き付けて、正確に理解する。
- ・文章の行間を読む能力を高め、思考力・判断力を養う。
- ・適宜文章を書き、それを発表することで、書く力や話す力を育み、言語感覚を磨く。

【古典】

- ・優れた古典の文章に触れることで、日本や中国の伝統と文化に対する理解を深める。
- ・言葉の成り立ちや生活における慣習が生まれた背景について説明し、感性を磨く。
- ・ものの見方、感じ方、考え方を広げ、思考力、想像力を身につける。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を集中して聞き積極的に取り組み、現代文について自ら学ぶ意欲がある。 ・言語文化や伝統に対する関心を深め、言葉を大切にし、進んで古典に親しもうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ・作品に対する意見交換を通し他の生徒の意見を聞き、自分の感覚や作者との共通点・相違点を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえてノートに内容をまとめられる。 ・自分の感想や意見を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の表現に即して心情を理解する。 ・筆者の主張や意見を論理的に理解できる。 ・古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定4～3級程度の漢字を読み書きできる。 ・現代文を理解するために必要な語句の知識や文学史の知識などを把握して、身につけている。 ・古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につけている。

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(授業中の態度や発言など) ・提出物の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(授業中の態度や発言など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(授業中の態度や発言など) ・提出物の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(授業中の態度や発言など) ・提出物の点検 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察(授業中の態度や発言など) ・提出物の点検 ・小テスト ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動 国語総合 1年 現代文&古典

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	学び直し	学び直しプリント 小説・随想・詩・短歌・俳句など	○		○	○	○	a: プリントを予習し、解答している。 c: 作品の感想を書くことができる。 d: 正確に音読し、作品の内容を読み取ることができる。 e: 中学校程度の漢字の読み書きができる。	行動の観察 提出物 小テスト 定期考査
2	随想を読む	教材 「挨拶上手」 ・挨拶の持つ意味を考える。 ・社会関係に目を向ける。	○	○		○	○	a: 教材に興味・関心を持ち、教材の内容について積極的に理解に努めている。 b: 筆者の主張をもとに、周囲の人々との関わり方について考え、表現しようとしている。 d: 文章構成を把握し、全体の流れを捉えている。 e: 慣用語、外来語を理解している。	行動の観察 提出物 小テスト 定期考査
2	小説を読む	教材 「指」 ・短編小説を味わい、鑑賞する。 ・小説を自分の経験に引きつけて読む態度を養う。	○		○	○	○	a: 教材に興味・関心を持ち、語句の読み方や意味を事前に調べ、理解に努めている。 c: 小説を読んで感じたことを感想文にまとめている。 d: 登場人物の言動から、人物像や人間関係を読み取っている。 e: 全文を正しく音読できる。	行動の観察 提出物 小テスト 定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2	古典入門	教材 説話 「鳩と蟻のこと」 徒然草「丹波に出雲」 ・古文を音読し、その調べに親しむ。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。	○			○	○	a: 古典を読む楽しみや教材の内容を積極的に理解しようとしている。 d: 現代語訳を参考に、内容を展開に即して理解している。 e: 歴史的仮名遣いの特徴とその読み方について理解し、本文を正しく音読している。	行動の観察 提出物 小テスト 定期考査
3	詩を読む	教材 「道程」 「六月」 ・詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・詩に込められた心情を理解する。	○	○		○	○	a: 教材に興味・関心を持ち、語句の読み方や意味を事前に調べ、理解に努めている。 b: 各作品を読んで感想を発表している。 d: 主題を読み取り、主題を通して作品に込められた作者の思いを理解している。 e: 詩特有の技法を理解し、散文との違いを理解している。	行動の観察 提出物 小テスト 定期考査
3	漢文(漢詩)を読む	教材 漢文 「虎の威を借る狐」 「春暁」「絶句」「黄鶴楼にて」 ・漢文や漢詩を音読し、その調べに親しむ。 ・「故事成語」について便覧などで調べる。 ・返り点を理解する。 ・漢文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を理解し、登場人物の行動や心情を味わう。	○			○	○	a: 漢文を読む楽しみや教材の内容を積極的に理解しようとしている。 d: 現代語訳を参考に、内容を展開に即して理解している。 e: 返り点の特徴を理解し、漢文を正しく訓読している。	行動の観察 提出物 小テスト 定期考査

表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。